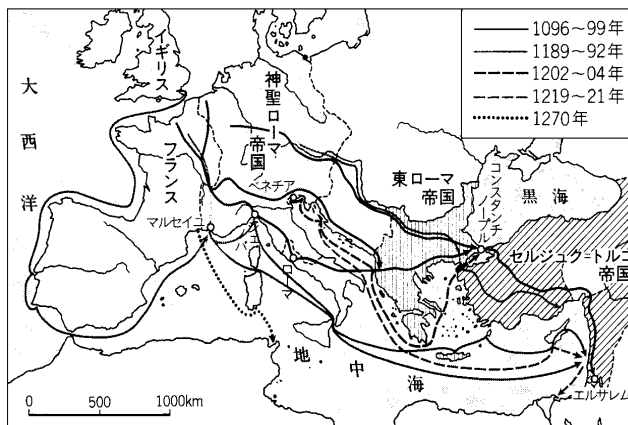


|       |        |     |     |       |
|-------|--------|-----|-----|-------|
| 第 8 章 | 社会(歴史) | 名前: | 日 付 | No.01 |
|       | 世界 1   |     |     |       |

## [問題 1]

次の各問いに答えなさい。

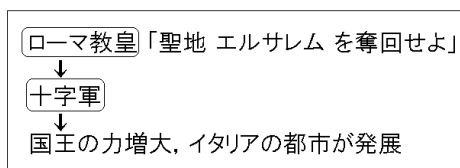


- (1) 上図は何の遠征を表していますか。
- (2) (1)はどこを取り戻すための戦いですか。
- (3) (1)の遠征により栄えたイタリアの都市を 1 つ答えなさい。

## [解答欄]

|         |           |          |
|---------|-----------|----------|
| (1) 十字軍 | (2) エルサレム | (3) ベネチア |
|---------|-----------|----------|

## [解説 1]



11 世紀の中ごろ、西アジアに、イスラム教徒であるトルコ人の強国が生まれた。ローマ教皇は、聖地エルサレムへのキリスト教徒の巡礼が、このトルコ人によってさまたげられていると主張し、国王や領主にエルサレムの奪回をよびかけた。こうして、200 年にわたって 7 回の遠征軍が送られた。これを十字軍という。しかし、イスラム教徒の強い反撃にあい、十字軍は失敗に終わった。十字軍の結果、教皇や領主の力がおとろえ、国王の力が増大した。また、西アジアとの貿易が盛んになりイタリアの都市が栄えた。

## [解説 2]

375年 ゲルマン人の大移動  
 476年 西ローマ帝国の滅亡  
       →フランク王国  
 ローマ教皇は国王の力を上回る

375 年ゲルマン人が大移動を始め、ローマ帝国に侵入した。ローマ帝国は、395 年に東西に分裂し、西ローマ帝国は 476 年に滅亡した。

ゲルマン人はフランク王国などの国を作ったが、その後、王国はフランス・ドイツ・イタリアのもとなる 3 つの国に分裂した。これらの国では、国王の保護を受けて、キリスト教が各地に広まった。

各国のキリスト教会の上に立つローマ教皇は各国の王をしのぐ力を持っていた。

## [問題 2]

次の年表をみて、以下の各問いに答えなさい。

| 年代    | おもなできごと         |
|-------|-----------------|
| 7 世紀  | ムハンマドが( ア )をおこす |
| 11 世紀 | ( イ )の遠征が始まる……A |
| 14 世紀 | イタリアで( ウ )がおこる  |

- (1) 年表中の( )に適する語句を答えなさい。
- (2) (ア)の聖典となっている書物の名前を答えなさい。
- (3) 年表中の A は、キリスト教の聖地をとりもどすために行われましたが、この聖地の名前を答えなさい。

## [解答欄]

|                     |              |                |                 |                  |
|---------------------|--------------|----------------|-----------------|------------------|
| (1)ア <b>ア イスラム教</b> | <b>イ 十字軍</b> | <b>ウ ルネサンス</b> | (2) <b>コーラン</b> | (3) <b>エルサレム</b> |
|---------------------|--------------|----------------|-----------------|------------------|

## [問題 3]

十字軍のころ、ヨーロッパ社会で国王以上の権威と影響力を持っていた人物がついていた地位は何か。

## [解答欄]

|              |
|--------------|
| <b>ローマ教皇</b> |
|--------------|

## [問題4]

次の各問いに答えよ。

- (1) キリスト教の聖地とされたのは何という都市か。
- (2) (1)があった西アジアにトルコ人の強国がうまれたが、このトルコ人は何という宗教の教徒であったか。
- (3) (1)へのキリスト教徒の巡礼がトルコ人によってさまたげられたとして、聖地の奪回を国王や領主によびかけたのは誰か。
- (4) (1)をとり返すため、約200年にわたって何度も遠征軍が送られたが、この遠征軍は何というか。
- (5) (4)の結果、力を強めたのは次のどれか。  
[ ローマ教皇 教会 国王 騎士 ]
- (5) (4)の結果、西アジアとの貿易がさかんになったが、これによって栄えたのはどこの都市か。次から選べ。  
[ ドイツ イタリア フランス ]

## [解答欄]

|                  |                  |                  |                |
|------------------|------------------|------------------|----------------|
| (1) <b>エルサレム</b> | (2) <b>イスラム教</b> | (3) <b>ローマ教皇</b> | (4) <b>十字軍</b> |
| (5) <b>国王</b>    | (6) <b>イタリア</b>  |                  |                |

## [問題5]

次の各問いに答えよ。

- (1) ルネサンスは、古代の( )やローマの文芸をその模範とした。
- (2) ルネサンスは何世紀ごろ始まったか。
- (3) ルネサンスはどこ都市で始まったか。次から選べ。

[ ドイツ イタリア フランス ]

## [解答欄]

|                 |                  |                 |
|-----------------|------------------|-----------------|
| (1) <b>ギリシャ</b> | (2) <b>14 世紀</b> | (3) <b>イタリア</b> |
|-----------------|------------------|-----------------|

## [解説]

十字軍→ギリシャ・ローマ文化への関心

↓  
ルネサンス(文芸復興):14世紀にイタリアの都市

レオナルド・ダ・ビンチの「モナ・リザ」

ミケランジェロの「ダビデ像」

ガリレオ・ガリレイ 地動説の証明



[モナ・リザ]



[ダビデ像]

十字軍は、ヨーロッパ社会にイスラム世界が保存していたギリシャ・ローマなどの文化を見直させるきっかけとなった。西アジアとの貿易でさかえた**イタリア**の都市を中心に14世紀ごろから、イスラム文化やギリシャ・ローマ文化への関心が高まり、キリスト教のしきたりにとらわれない、自由でいきいきした文化がおこった。この動きを**ルネサンス**(文芸復興)という。

イタリアではダンテが「神曲」を書き、ルネサンスのさきがけとなった。

美術では、**レオナルド・ダ・ビンチ**の「モナ・リザ」、**ミケランジェロ**の「**ダビデ像**」が有名である。

**ガリレオ・ガリレイ**はコペルニクスが唱えた**地動説**を証明した。

また、イギリスの**シェークスピア**は「ハムレット」などの劇を書いた。

## [問題6]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の資料について、これらの作品が作られたころの文化の動きを何と  
いうか。
- (2) これらの作品から当時の文化のどのような考え方がわかるか。  
次から選べ。  
ア 古いしきたりを守る。  
イ 人間や自然をありのままに見つめる。  
ウ 教会の改革を目指す。
- (3) (1)の時代に、イタリアで天体観測を通じて地動説を証明した科学者を、  
次から1人選べ。

[ ミケランジェロ ダンテ ルター ガリレオ・ガリレイ ]

## [解答欄]

|                  |              |                      |
|------------------|--------------|----------------------|
| (1) <b>ルネサンス</b> | (2) <b>イ</b> | (3) <b>ガリレオ・ガリレイ</b> |
|------------------|--------------|----------------------|

